

## 5)教育研究性の作用

### 5-1 創造一般

#### 5-1-1 統合総合総括性の問いと答え

生命、創造、自然、社会、生態、という観点と関連の見解について述べなさいなどという全体集約性を問う問題と回答に関心が生じる。世界観、全体性を如何に抱き備えるか。個別特定の性格を作る。どのような人間性を有するか、中身の観測と分析が起こる。変わりづらい標準性の観点を引き出しながら、具体の応用性に反映される。物事を伺い適正を作る変わりづらい基準観念と具体の実践に及ぶ。

#### 5-1-2 活動と産出、効果と検証、資源配分、再生産と生の持続

個々の現象と蓄積、反省と改善の作為を重ね、良好な標準観を導出し、個別具体の現象の観測と評価、施策と検証と改善を持続する活動と習慣が促進。教育研究性の作用の一面には、適正概念の形成と提起という産出性と成果性が生まれる。人々に実際的に用いられる概念と運用に至り、理解と納得、共感と現象の質実反映される。短期的な効果や利益性に対し中期長期性の利益を実現する。皮膚感覚の効果に到達。

#### 5-1-3 施策構成の適正

軍事力の増強と脅威の高まりを招く現象について、適当な対応を増強する作為や施策のみならず上述のような作為と創造を併せ持ち、バランス構成の適正な体系が作動する。批判性に偏らず基軸的な建設性の創造を投じ歪性の広がり予防し最良に及ばせる態度が生まれる。

#### 5-1-4 批判性と建設性、根拠性

監視や批判作用も人々に求められる作為であり肯定されるものの、基軸的建設性の創造が萎むと、バランス感の歪性を伝える。産出と検証と改善の持続する活動習慣に健全な人間性を生む。良し悪しの算定には標準観や基準性を引き出し事前的に明示し過不足の算定と適正化の施策に連なる創造観を産む。あまりに根拠性が乏しく良し悪しと判定を下す性格に生の歪性が生じる。

## 5-2 今日性

### 5-2-1 情報化・デジタル化、流通性一般

ランキング表等の集約性を取りまとめ、外界に明示する作為や情報化やデジタル化などという特定概念を多用し訴求する態度が見られる。内容の充実した基準と運用にあり、人々に利益性を与える真相にあるか、単純抽象集約の作用について歪な効率性の作為にないか、流通の中身が吟味される。情報の流通性、知識や概念や見識の流通性、商品、人材や金融の流通、どのような効果を意図して、対象事物を流通するか。

健全な人間性と社会性が伝わるか。

持続性と活力性、安定性と繁栄性、

技能性、政策性、知識性、概念性、見識性

衝動性、扇動、洗脳、力みの激しい特定利益の追求、

根本且つ全体大局観を失った個別特定性による効果と利益性、

部分最適、根本と全体の喪失、根本、基礎性の概念の欠落、

詐欺、盗み、略奪性を帯びる表現と創造性、

あまりに程度の悪い物は放置できない。良質のインフラ性が働く。

### 5-2-2 観測と評価の視座

現象の良し悪しを算定するのに、「動機の適正、概念形成上、概念と運用上、現象と流通上、資源配分上、」という観点に分けられる。

### 5-2-3 インフラ性

健全な感性と思慮を重ね標準性を引き出し、冷静な思考と基準と運用を図るインフラ性の働きが要る。情報戦などと肯定的に評価する事に適正が有るか、消耗の破壊的であり、ただの犯罪性にあり、野放し出来ない事象の認識をもって取り締まりを強化すべき事柄と認識と行為を進めるか。負の性質を広げる不利益性は許容されない。生や創造、人間性の歪な犯罪や病理の本質が映れば必要な対策が要る。あまりに基礎と柱と大局観の狂った小細工の感覚と技能と作為に支配された病理は淡々と対処する判断が増す。

## 5-3 欲求と作為

### 5-3-1 財欲

お金をたくさん手に入れたい、何でも欲しいものが買えるから、

### 5-3-2 権力欲

「自己が偉い、従わせたい、言う事を聞け」といった制御と権力願望、

### 5-3-3 意味不明、理不尽性、短絡の優劣基準、

内容はどうでもよい、ただ、俺の言う事を聞け、面子を壊すな、基準と過不足の評価判定に、根拠が弱く、理解納得共感を作る態度が乏しい、偉いと周囲から評価されたい、金が有るから偉い、短絡の優劣基準と運用、小細工的な発想、装飾、欺き、生の瘦せた性質、

### 5-3-4 良し悪しの基準性

生産と効果と影響、短期的、中期的、長期的効果、因果と周期、短期性の因果に偏って中期や長期の観点が備わらない、局所構造性質、

## 5-4 生命と創造と人間、社会と自然と生態観

### 5-4-1 自然性と社会性

感覚、生物物理、技術産業、心理心象、社会性、

### 5-4-2 負の心象、生じる因果、非社会的

嘘をつく、欺く、略奪する、犯罪性により生存と成長を企て実行、恨み辛みの感情、非社会性を増幅、

### 5-4-3 慢性的な負の習慣と性質

過程は問わない、結果さえよければ、勝利さえすればよい、歪化した標準と運用、成長の未熟な段階、過度な力を保有し暴走、

## 5-5 根本性と基礎性、全体大局性

### 5-5-1 備える生命人間観の適正

感性と概念と精神と身体の相関と規則性、不動性と変動性、

### 5-5-2 生と人間の成長過程

金や地位を得るまでの過程の適正に疑問が増す。

入手性が活用性に反映される因果が回る。

標準性と応用

標準性

変わりづらい基準性

成長過程

静的  
動的

体系

概念

生態性

周期

精神

社会性

自然性

感覚

創造性・活動性

感性

生命性

応用性

主題と意図の絞り込み

具体の展開

性質  
構造  
局所

良し悪し  
判断基準

過程

方法  
円満性  
犯罪性

欲求

知欲、創造欲  
財欲、権力欲